

<デザインのもつイメージが喚起力>

仕事柄、欧米の代表的プロジェクトについては、できるだけこの目で確認し、実感するようにしています。前回のP-voice vol.6では、欧州都市再生の模範都市・ビルバオについて触れ、都市開発における<ヴィジョン>セクターと<ミッション>セクターの明確な分離が、強く意図されていることについて言及しました。欧米の代表的プロジェクトを通して指摘しておきたいこととして、是非とももうひとつ挙げておきたいことがあります。

それは、都市再生・まちづくりにおける<デザインの持つイメージ喚起力>を戦略的に位置づけている事例が多く見られることです。先のビルバオでは、E.O.ゲーリー設計のグッゲンハイム美術館や、カラトラヴァ設計の橋、それにノーマン・フォスターの地下鉄など、明らかにデザインの持つイメージ喚起力といったものを意識していることが窺えます。現在もR.スターン(ディズニー社がフロリダに計画中の住宅地・セレブレーションのマスタープランナー)や磯崎さんのプロジェクトが進行中のようでした。

このような事例としては、思いつくだけでもベルリンのIBAの諸プロジェクト、ダイムラーシティプロジェクト、リール(フランス)のユーラ・リールプロジェクト、ミッテラン大統領が指揮したパリのグランド・プロジェクト、イギリスのテムズ川でのドッグランドの諸プロジェクトなど多数あり、それぞれのプロジェクトでマスタープランナーや個別建築家、アーティストの顔が見えます。

ひるがえって日本の場合ですが、主要建築プロジェクトにおいてデザイン性を重視する動きは、徐々に増えつつあるようですが、都市再生・まちづくりにおいて戦略的にデザインを位置づけていく、という動きは、まだまだのようです。



ベルリンのダイムラーシティプロジェクト



ビルバオのカラトラヴァ設計の橋



ユーラリールプロジェクト

(いずれも撮影:三好庸隆)

私がかねてより、市庁舎、小・中・高校などの教育施設、病院、公共住宅、駅舎、橋、街路、バスストップなどの公共・公益的建造物については、街のイメージを長期に渡って牽引していく風景要素となるため、そのデザイン性については戦略的に取り組むべきである、という考えを持っています。実情を見てみますと、日本においては、建築行為が産業振興策としてとらえられていたり、計画・設計行為についても設計業界への業務の機会均等などの理由で、計画力・デザイン力に対する配慮は全く無く入札になったりしている残念な例は、今日でも枚挙に暇がありません。

上記に示した、公共・公益的建造物のデザインに対する戦略的取り組みは、最も経費がかからず、最も着実な都市環境デザイン手法のひとつであると考えられ、自治体財政が逼迫している時期だからこそ、重視したい手法ではないでしょうか。

2004年 夏・秋 所長 三好 庸隆

Project report 1 : アスタくづか

～食のまち・長田に新名所が誕生しました！～

阪神淡路大震災により甚大な被害を受けた長田・大正筋。震災から9年を経た今、その復興再開プロジェクトの一環として、『食のまち・長田』から新しい食文化を発信し、地域の活力を育む公開型のキッチンスタジオが生まれました。日本で初めての最新式業務用オール電化厨房は、全面ガラスウィンドウでショーアップされ、イベントやセミナーによって自在にレイアウトを変えることができます。ここで繰り広げられる多彩なデモンストレーションが、市民参加型の新しい賑わいの場になることと思います。

事業主体には、兵庫栄養製菓調理専門学校が参加し、プロの調理人の実習の場、独立開業の支援、長田発の食メニュー(長田TMOとの連携)の開発など、新しい食文化の創造拠点となることも期待されます。

プロジェクトデータ
 名称: アスタ キッチンスタジオ
 所在地: 神戸市長田区二葉5丁目
 新長田再開発ビル“アスタ5番館”内1階
 専有面積: 132.64㎡(キッチンスタジオ)
 + 63.90㎡(セミナールーム)
 事業主体: 神戸市+兵庫栄養製菓調理専門学校
 担当: 内田、田中、目加田
 (設計期間: 2003年5~10月、工事期間: 2003年11~
 2004年3月、竣工: 2004年3月竣工)



Project report 2 : 阪急彩都/マイア・ガーデン

～彩都に新しい魅力施設が竣工しました！～

新しい街・彩都にスタイリッシュなガーデンセンター、マイアガーデンが4月17日にオープンしました。オープン時には彩都のイメージキャラクターの三浦りさ子さんも来店され、大変な賑わいでした。

マイアガーデンの特徴は、敷地の高低差を活用し、屋内の売場と屋外の売場が一体となっており、自由に行き来できることです。濃いブルーを基本とし、ポイントにホワイトを用いています。また、屋外には数種類のモデルガーデンが点在し、ガーデンニング意欲をそそる構成としました。みなさんも一度ご来店ください。

マイア(maia)とは...
 ギリシャ神話に登場する豊穡の女神という意味で、マイアガーデンを拠点とし、彩都地区周辺のまちなみに花や緑があふれていくことを願って名づけられました。



プロジェクトデータ
 名称: マイアガーデン
 所在地: 箕面市彩都粟生南1-16-33
 敷地面積: 3,053.34㎡
 延床面積: 559.32㎡
 事業主体: 株式会社 クリエイト 阪急
 担当: 三好、内田、近藤、目加田、徳田
 (計画・設計期間: 2003年4~11月、2004年4月竣工)

Project report 3 : ネットテラス篠山

～新しいカーショールームが竣工しました！～

今春3月、JR篠山口駅西地区にネットトヨタ神戸(株)の篠山地区の拠点としてオープンしたショールームと整備工場です。コストと施工期間のパフォーマンスを満足させながら、周辺の自然環境やロードサイド環境と対峙するようシャープな形態を目指したものとしました。トヨタユーザ以外の皆さんも、一度、お立ち寄りください。

プロジェクトデータ
 名称: ネットテラス篠山
 所在地: 兵庫県篠山市大沢
 敷地面積: 1,278.29㎡
 延床面積: 436.41㎡
 事業主体: ネットトヨタ神戸 株式会社
 PPI 担当: 三好、内仲
 (計画・設計期間: 2003年9~10月、2004年3月竣工)



Project report 4 : アーバネックス北大路 (その後)

~都市型デザイナーズ賃貸マンション いよいよ完成~

京都らしい町並みの残る北大路に、現代の多様なライフスタイルにマッチしたアーバネックス北大路が完成しました。北大路通りに面する外観は、周囲の景観や町並みへの配慮をしつつ、都会的な様相も持ち合わせたセンシティブな仕上がりとなっています。住戸計画は、入居者の様々なニーズに対応し、基準階の全住戸の間取りを異なる計画としました。南側の最上階にはロフトを設置。京都市内全域を一望することができます。また、北側の住戸では1年を通して住む人の目を癒してくれる北山の景色に加え、送り火を楽しめる京都市内でも数少ないロケーションとなっています。

残り住戸は僅かとなっております。京都にお住みになりたい方、アーバネックス北大路はいかが...!!

プロジェクトデータ
名称：アーバネックス北大路
所在地：京都市北区
敷地面積：約 503 m²
延床面積：約 1,210 m²
構造規模：RC造,地上7階建
住戸数他：29戸+テナント
事業主体：株式会社 アーバネックス
PPI担当：三好、内田、桑原、徳田
(計画・設計期間：2003年3~9月、
2004年8月竣工)



Project report 5 : 八尾市公共施設有効利用調査

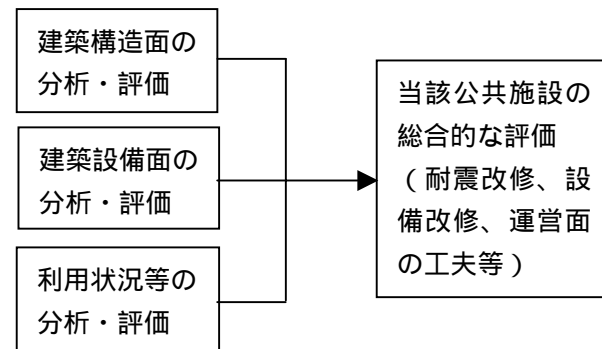
~市民の財産である公共施設の有効利用方策を考える~

大阪府八尾市ではこの2カ年にわたって、市の公共施設の今後のあり方についての検討調査を行いました。近年、循環型社会の構築の流れと地方自治体の厳しい財政状況を背景に、今ある公共施設の建物をより有効的に活用すると共に、市民ニーズの変化や多様化に対応した質の高いサービスを提供することが求められています。しかし、このような視点から公共施設を見直し、積極的に改善を進めている自治体はまだ、数える程しかありません。そこで八尾市ではこのような考え方を基に、市内公共施設(約50施設)の建物の耐震性や老朽度、設備機器の老朽度といった「ハード面の分析・評価」と共に、利用者数や維持管理費の年次推移といった「ソフト面の分析・評価」を行ない、総合的な視点から公共施設の今後のあり方について検討しました。建設年度の古い施設では設計図書が失われているものもありましたが、現地での耐震診断や設備機器の老朽度診断、施設管理者へのヒアリング調査等を基に、施設の評価を行ないました。今後は、要建替え施設の事業を進めると共に、様々なデータ蓄積と評価を毎年重ね、施設管理者自らが改善点を見つけ出し、質の高い維持管理と運営を行なえるようなシステムづくりを行なう予定です。

PPI担当：三好、柴田

(調査計画期間：2002年4月~2004年3月)

<公共施設の評価作業の流れ>



Project report 6 : アーバネックス神山町(その後)

~まもなくオープンします!~

10月初オープン予定のクリニックを主体としたテナントビルです。意匠と熱環境を考慮したダブルスキン(扇町通のファサード)を採用し、屋上の部分的な緑化などエコロジカルな観点からの計画も盛り込んでいます。



プロジェクトデータ
名称：アーバネックス神山町
所在地：大阪市北区
延床面積：約 4,061.12 m²
構造規模：鉄骨造 5階建
事業主体：株式会社 アーバネックス
PPI担当：三好、内田
(計画・設計期間：2003年7月~
2004年1月)

Project report 7 : 八尾市大正住宅建替え協議会

~実施設計のワークショップが始まりました!~

協議会活動も4年目に入り、いよいよ実施設計のワークショップが始まりました。住民の皆さんは、将来住む住戸・共用部分・外構部分を少しでも住みやすいものにしようと、細かな工夫・アイデアを搾り出しています。市も、これらの意見をできるだけ組み込もうと努力しています。今後、これと平行して、仮移転を行なう住民の仮移転先や引越費用等についての意見交換も行なわれます。もう目の前に見えてきた建替事業。協議会では、いつも真剣な意見交換が行なわれています。今年度一杯で実施設計がまとめられ、来春には仮移転、夏頃からは旧住宅の撤去と文化財発掘調査等が行なわれる予定です。



(PPI担当：柴田)
身を乗り出しながら活発な意見が交わされるワークショップ。

トピックス

《1》野田のまちづくりを考える会

まちづくり構想を提出後も活発な活動を行っている「野田のまちづくりを考える会」では、7月17日の住環境部会において、京都大学防災研究所の鈴木祥之教授を招いて、『木造住宅は大地震に耐えられるか』という題目で発表を行っていただき、様々な意見交換が行われました。

また、「野田のまちづくりを考える会」の活動が本年度の『全国都市再生モデル調査』に採択され、今後も野田発の密集市街地のまちづくりを進めていく予定です。(PPI担当：近藤)

《2》近鉄白庭台商業施設

近鉄不動産が開発する生駒市・白庭台住宅地のメインの入口となる部分に、街の新しい顔となるスーパーを来年春のオープンを目指し、計画中です。スーパーの新しい流れを感じさせる魅力のある建物になりそうです。

プロジェクトデータ
名称：(仮称)ハーベス
白庭台店
所在地：奈良県生駒市
白庭台3丁目
敷地面積：5,206.27 m²
延床面積：約 2500 m²
事業主体：(株)近商ストア
PPI担当：三好、内田、鶴野、近藤、徳田、網井



《3》研究発表

PPIではかねてより「彩都」などの郊外ニュータウンにおける都市デザイン、建築設計の実践的業務と並行して、郊外ニュータウンの持続的発展方策の研究を進めています。その成果の一端として論文「兵庫県三田市のニュータウンにおける地域施設の利用満足度と施設要求 郊外ニュータウンの持続的発展方策に関する基礎的研究(その2)」を、日本建築学会計画系論文集第582号(2004年8月)に発表しました。

《4》大阪大学での平成16年度授業

PPI三好による大阪大学での平成16年度授業が、同年6月~8月にかけて行なわれました。地球総合工学科建築工学科目3回生を対象とした建築設計演習です。課題は、「彩都・西センター駅前地区における留学生施設を核とした交流施設」で、阪大隣接地で着々と進行する新しいまちづくりを実際に経験し、そのまちにふさわしい新しいタイプの交流施設を設計する、という内容です。夏休み中に採点評価し、10月に講評を行なう予定です。

《5》大阪市職員研修

平成16年7月9日、大阪市他の市役所建設系技術職員を対象とした研修会で、PPI三好が「まちづくり計画」についての研修の講師を務めました。「まちづくり」「環境デザイン」に関する重要なパラダイムについて講義とともに、注目すべき欧州主要8都市の様子を紹介しました。また、後半は、これから関西のまちづくりを担う若き建設系職員の方々に、ワークショップ形式のこつと議論の可能性・限界を知る試みとして、「大阪を元気にするアイデア」についてワークショップ形式で検討・発表してもらう試みを行ないました。

編集後記

猛暑、サッカーアジアカップ、甲子園にオリンピックと、今年は特に暑い夏でした。公共施設の有効利用調査のような新しい分野の仕事には、より熱い気持ちで取り組んでいます。

編集・発行

(株)PPI 計画・設計研究所
〒540-0021 大阪市中央区大手通2-2-2
トーンアップビル7F
TEL 06-6949-0901 FAX 06-6949-0902
E-mail: ppi-osaka@pop07.odn.ne.jp
URL: <http://www.ppi-osaka.com>
(ホームページでもP-voiceが御覧になれます)
発行責任者：三好庸隆
編集担当者：柴田明宏